

## 巻頭によせて



校長 北 村 聡

Kitamura Satoshi

今年3月の大震災で無念にも落命された皆様のご冥福をお祈りいたしますと共に、避難生活等、未だ困難な状況の中にある人々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

また、原子力発電所の事故の実態が明らかになるにつれて、大きな不安が日本を覆い尽くそうとしています。周辺住民の生活は依然として先が見えず、先祖代々守り続けてきた土地や稼業を離れなければならない苦悩を思うと胸が痛みます。明治時代の先人達が国家の発展を願い、不屈の精神で造り上げた常磐線の完全復旧も絶望的です。

1945年に戦争が終わり、アメリカの日本占領軍最高司令官マッカーサーが日本に来た時、最も驚いたのは、「列車が時刻表通りに動いている」事だったそうです。1942年の東京初空襲に始まるアメリカ軍の大都市に対する無差別空襲により、鉄道は壊滅していると信じていたのです。空襲で破壊された線路はその都度迅速に復旧されていました。人々は、またいつやってくるかも知れない爆撃機の恐怖と戦いながら、昼夜兼行で作業に邁進した事でしょう。日本人の桁外れの精神力は、多くの婦女子をも殺戮した大量の爆薬と、軍の最高司令官の想像力に打ち勝つものでした。

原発の事も含めると年月はかかるでしょうが、日本人はその底力を発揮し、必ず復興を成し遂げると信じます。困難に立ち向かい力強く生きようとしている人々の姿を見聞きするにつけ、かつて日本を訪れた外国の人々が賞賛して止まなかった、美しい国土と精神を守る事の大切さを、あらためて考える時が来ていると感じます。